

# 大阪……といえば、財政赤字。

大阪は経常収支比率が連続して全国ワースト1を記録し、赤字再建団体に転落の危機といわれ数年たつ。ちなみに赤字再建団体というのは、企業でいうところの会社更生法にあたるわけで「こりゃ～やばい」わけです。しかもこの数年間にもどんどん景気が悪くなり、ホンマにホンマ、ピンチ！らしい。ちなみに豊中市も私の住んでいる池田市も相当やばいらしいが……。

ということで大阪府民歴35年の私としては、最近気になることがある。

私は県境の町に住んでいる。私の住む池田市は猪名川をはさんで向かいが兵庫県川西市なのである。池田市の北部に至っては丘を越えたら兵庫県というところもある。ちなみに南部はもう、まったくどこからかわからないうちに兵庫県伊丹市になっている。分水嶺があるとか、渡しがいないと渡れないような大河があるとか、そういう緊張感、ってなものがまったく見られない、じみ～な県境なのである。

うちから車で1分もかからずに猪名川大橋に着く。橋をわたると兵庫県だ。さいきん橋の向こうに大型電気店やマニアックなパソコンショップやジャパンや大規模な薬局・ベビー用品店などがわんさと出現し、お買い物好きの私としてはついつい足を向けてしまうのだ。子連れなので駐車場を整備したこれらのお店はたいへん魅力的だ。

しかし、だ。兵庫県でのお買い物は、大阪府に利益をもたらさない。これが問題なのだ。よく「タバコは地元で買しましょう」ってな標語を見かけるが、これはタバコにかかる税金がその市町村の収入となるためだ。タバコでなくても消費税5%のうち1%は県の収入となる。つまりお買い物はできるだけ地元でした方がわが町・県を豊かにできるということだ。しかし地元池田には言っちゃわるいが魅力的なお店が少ない。大量に物を買収めるようなお店が少ないのだ。統計を取ったわけではないが、よく行く店を挙げてみると、そのほとんどを周辺のまち（とくに兵庫県）で行っている。大阪府や池田市を愛している私がお買い物の多くは兵庫県でしているということは矛盾なのだが……。

ついでにわからないことがあるので書き留めておきたい。私は千里中央（大阪府豊中市）のコーヒーショップ[hiro]でプリペイドカードをよく買うのだが、これを使用するのは半分以上、兵庫県宝塚市にあるチェーン店の[hiro]なのだ。もしカードの売上げがまるまる千里中央店に入るのなら、千里中央店は宝塚店の商品を取り上げている形にならないか。もしそうなら私は大阪府の財政にミミズの涙程度ではあるが貢献していることになる。それとも千里中央店のカードの売上げの一部が宝塚店に移るのだろうか。それとも、そもそもチェーン店は、その本部のある地域の県に一括して消費税を納めているのだろうか。詳しい人ぜひ教えてください。